

捨貼り工法専用フロア

マイボクデザイン
カナエル R12
クオルテ VC

施工のポイント

※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

施工にあたっての注意

- 本フロアは、**捨貼り工法専用**です。根太への直接施工はできません。

	<ul style="list-style-type: none"> ・在来工法：合板12mm厚以上 ・根太レス工法：構造用合板24mm厚以上 (メーターモジュールは構造用合板28mm厚以上) ・乾式二重床工法：パーティクルボード (床暖房使用時は合板12mm厚以上を捨貼り)
	<ul style="list-style-type: none"> ・根太直接 ・コンクリートころぼし根太(合板捨貼り工法でも不可) ・その他

- 施工は、必ず以下に記す接着剤／釘のいずれかを使用してください。

品目	使用量
接着剤	<p>【ウレタン系】 ノダフロア用接着剤：FP-B06 コニシ株式会社：KU-928C-X オート化学工業株式会社：オートアドハーブ8500 アイカ工業株式会社：JW-400シリーズ</p> <p>【変成シリコーン系】コニシ株式会社：床美人(PX280C-X)</p>
釘	<p>フロアネイル スチール 長さ38mm以上 長さ38mm以上／肩幅4mm</p> <p>△ フィニッシュネイルおよび ブラッドネイルは絶対に 使用しないでください。</p> <p>△ 短手実には、 必ず釘を2本 以上打ち込ん でください。</p> <p>長手：303mmピッチ以下 合板下地／床暖房下地： 7本以上／6尺 二重床下地： 10本以上／6尺 短手：2本以上／1尺</p>

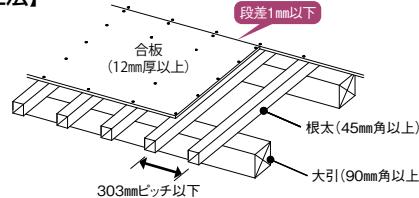
- 水廻りに施工する際は、P.263「**水廻り施工のポイント**」を参照の上、シーリング処理をしてください。
- フロアの開梱は施工直前に行ってください。開梱後12時間以上放置すると寸法安定性を損ないます。
- フロアと壁(壁がない場合は柱／間柱)は**3～5mm程度**のすき間を設けて、巾木をフロアの上にかぶせてください。
- かぶせ量の少ないソフト巾木は使用しないでください。
- 10m以上の長いスパンで施工する場合は、かぶせタイプの床見切りを設け、0.3mm程度の目透かし施工をしてください。
- 施工前に必ず仮並べをして、色柄の調和を見てください。極端に色／柄／品質上の問題がある場合、お知らせください。(施工後における苦情／お取替えについては応じかねます)
- 雨や雪を含む水がかかる場所／湿気の多い場所には施工しないでください。
- 室温が**5°C以下**の場合、施工しないでください。接着剤の硬化不良が生じます。

下地施工

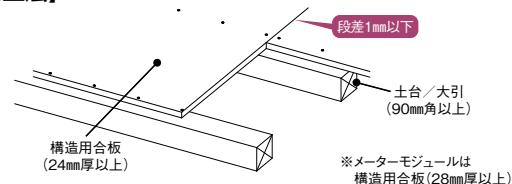
■合板下地の場合

- 合板の継ぎ目部分の段差がないよう(**1mm以下**)に調整してください。
- 合板の短手継ぎ目部分は必ず根太／大引上で行い**2mm程度**のすき間を設けてください。
- 合板／根太および大引の固定にはウレタン系接着剤を塗布し、スクリューネイルまたは木ネジを**303mmピッチ以下**で頭が出ないように打ち込んでください。
- スクリューネイル／木ネジの長さは合板厚さの**2.5倍以上**、根太の場合は**2倍以上**としてください。

【在来工法】



【根太レス工法】

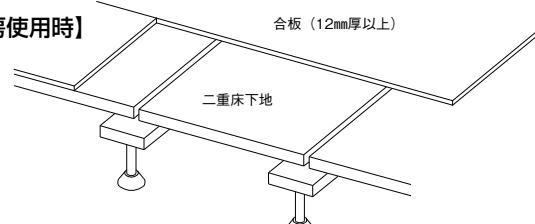


- ⚠ ●大引／根太／合板は乾燥したものをご使用ください。
(大引／根太の含水率：15%以下、合板／パーティクルボードの含水率：14%以下にしてください。)
- 下地材が濡れないよう充分ご配慮ください。
 - ピアノ等の重量物を置く場所の場合には、根太本数を増やす等下地補強をしてください。
 - 根太組した面に段差がないことを確認してください。また段違いを防ぐため根太は両面プレナー掛けしたものをご使用ください。

■二重床下地の場合

- 二重床下地の施工は二重床メーカーの施工説明書に必ず従ってください。
- 下地材の継ぎ目部分の段差がないように調整してください。また下地材の継ぎ目部分はすき間を一定に空けてください。すき間は下地材料により幅が異なります。
- 壁際は、際根太等に必ず下地材をしっかりと固定してください。
- 二重床下地で床暖房を施工する際は**12mm厚以上**の合板を捨貼りしてください。

【床暖房使用時】



- ⚠ ●下地モルタルは**最低3週間以上**の乾燥期間をとり、含水率を**10%以下**にしてください。

【乾燥の目安】

最も乾燥しにくい部分の下地表面に、1m×1m程度のポリシートの四隅を布テープ(ガムテープ)止めにより被覆密閉し、24時間以上放置後、シート下のモルタル面が黒く変色しないことを確認してください。

捨貼り工法専用フロア

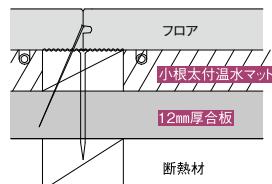
施工のポイント

※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

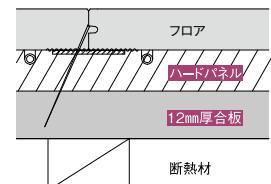
■床暖房下地の場合

- ガス会社により対応できる床暖房が異なります。詳しくはP.42をご参照ください。
- 床暖房の施工は床暖房メーカーの施工説明書に必ず従ってください。
- 温水マット／ハードパネルの下に下地合板(12mm厚以上)が施工されていることを確認してください。
- 温水マット／ハードパネル周辺部は12mm厚合板を敷きこみ段差がないよう(1mm以下)に仕上げてください。
- 温水マットは小根太部分とフロアが必ず直交するようにしてください。

●小根太付温水マット



●ハードパネル



フロア施工

接着剤塗布位置／釘固定箇所については**施工ポイント**を参照の上、施工してください。

- 床下地／温水マット／ハードパネル／周辺部(合板部分)の継ぎ目とフロアの継ぎ目が100mm以上ずれるように割付けしてください。
- フロアの短手継ぎ目が小根太および釘打ち可能箇所にくるように割付けし、フロアは必ず直交するように施工してください。
- 床下地／温水マット／ハードパネル／周辺部(合板部分)の表面ゴミ／ホコリ等をきれいに清掃してください。
- フロアは無理に叩き込んだり蹴り入れないでください。

養生

施工後は、工事完了まで以下に留意して養生してください。

- 表面にキズ／目隠／浮きがないことを確認してください。
- 工事完了までフロア用養生シート等により壁際まですき間なく敷き、表面を充分に保護してください。
- 必ず、床用養生テープを使用してください。
- 凹凸のある硬質の養生ボードは使用しないでください。
- 雨水等が養生シートにしみ込まないようにしてください。
- 下地材やフロア等に結露等が生じないようにしてください。
- 養生中、室内の換気は充分に行ってください。

メイボクデザイン
カナエル R12
クオルテ VC

施工ポイント ①指定接着剤を指定位置に塗布

- 接着剤は、必ず指定のものをご使用ください(『施工にあたっての注意』参照)。

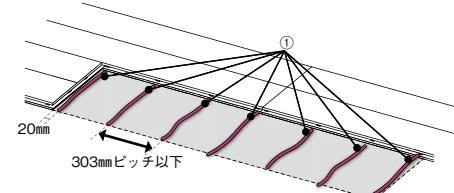
- 接着剤は、直径6mm以上を塗布してください。

- 接着剤は、フロア幅の端から端まで塗布してください。



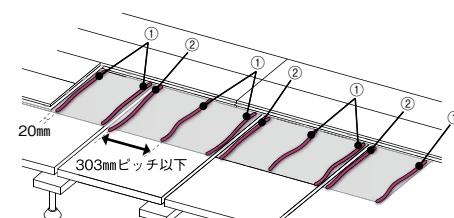
合板下地の場合

- ①短手から20mm以内、および303mmピッチ以下で計7本塗布



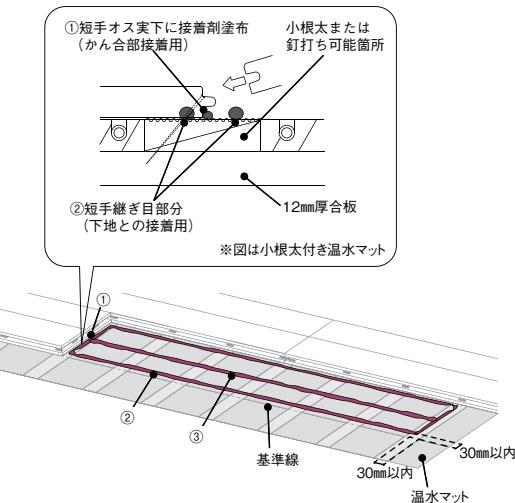
二重床下地の場合

- ①短手から20mm以内、および303mmピッチ以下で計7本塗布
- ②下地ジョイント部にもう1本塗布



床暖房下地の場合

- ①短手オス実下に塗布
- ②隣のフロアから30mm以内に口の字に塗布
- ③長手方向中央に1本塗布



R-Design

C-Design

木質床材

一般住宅

マンション直貼り

リフォーム向け

衝撃吸収床材

天然木フロア

化粧シートフロア

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

階段・手摺・室内はしご

内壁材

あかりサポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用ハイベストウッド

P&C-MJ SYSTEM

設計・施工資料編

製品掲載ページ

94・98
116

捨貼り工法専用フロア

メイボクデザイン

カナエル R12

クオルテ VC

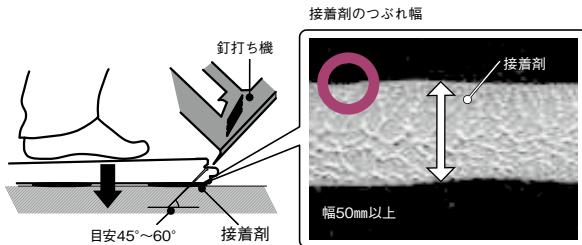
施工のポイント

※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

施工ポイント ②フロアネイルまたはステープルを使用

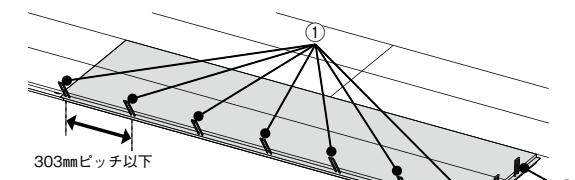
- 指定のフロアネイルまたはステープルを使用してください（長さ38mm以上）。
- 着接着剤が広がるよう、足でフロアに加重を加えながら打ち込んでください。
- 打ち込みの角度は45°～60°を目安としてください。
- 着接着剤がフロア表面に付いたり、かん合部からはみだした場合、乾いた布で速やかに拭き取ってください。硬化すると取れません。
- 貼始め／貼じまいの壁際部のフロアは接着剤が硬化するまで、フロアと壁のすき間にクサビを打ったり、カクシ釘を打つなどしてフロアの浮きを防いでください。

- △** ●フィニッシュネイルおよびブラッドネイルは、使用しないでください。
●「千鳥貼り」または「レンガ貼り」とし、平行貼りは行わないでください。
●クオルテは短手方向の溝と縦手が一直線に並ぶため、2尺ずらし貼りは行わないでください。
●釘打ち機のエア一圧は、あらかじめ試し打ちを行い、釘頭の出過ぎ／沈み過ぎがないよう強さを調整してください。



■合板下地／床暖房下地の場合

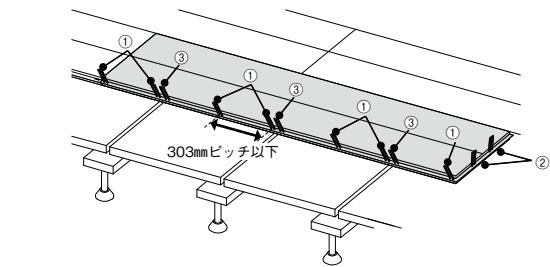
- ①長手は303mmピッチ以下で7本以上打ち込む
- ②短手は2本以上打ち込む



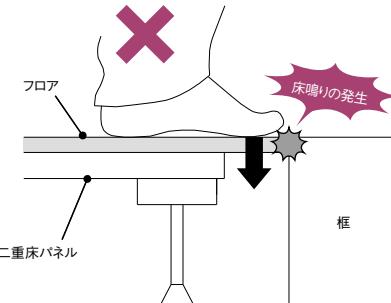
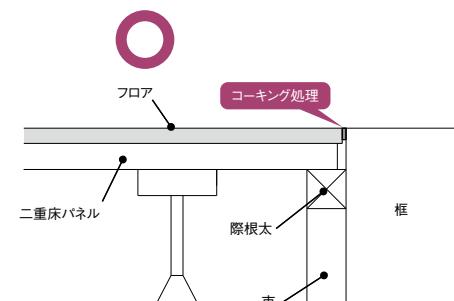
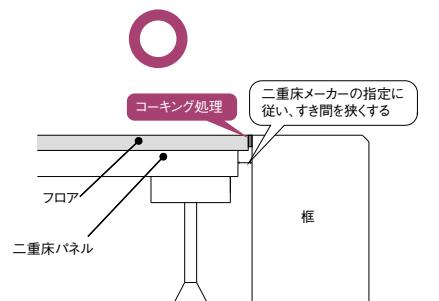
- △** ●床暖房下地の場合は、必ず小根太上に打ち込んでください。

■二重床下地の場合

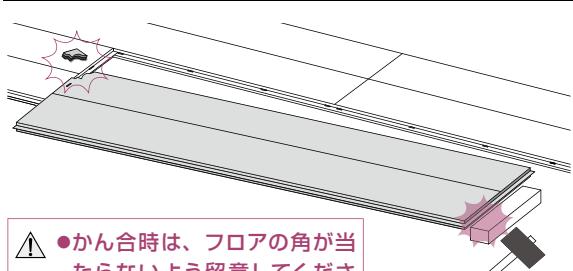
- ①長手方向は303mmピッチ以下で7本以上打ち込む
- ②短手方向は2本以上打ち込む
- ③下地ジョイント部にもう1本打ち込む



- △** ●框等との突き付け部は床鳴り防止策を行ってください。



推奨コーキング剤
ヤヨイ化学工業株式会社：ジョイントコーキングA
セメダイン株式会社：ウッドシール
コニシ株式会社：カベコーキングノンブリード



- △** ●かん合時は、フロアの角が当たらないよう留意してください。角が当たった状態でかん合すると角破損のおそれがあります。

捨貼り工法専用フロア

水廻り施工のポイント

※施工については必ず、施工説明書に従って正しく施工してください。

マイボクデザイン

カナエル R12

クオルテ VC

R-Design

C-Design

木質床材

一般住宅

マンション直貼り

リフォーム向け

衝撃吸収床材

天然木フロア

化粧シートフロア

根太施工

二重床施工

捨貼り施工

防音・直貼り

直貼り

上貼り

框・式台

階段・手摺・室内はしご

内壁材

あかりサポート

ぬれ縁

ラスカット

構造用ハイペストウッド

P&C-MJ SYSTEM

設計・施工資料編

製品掲載ページ

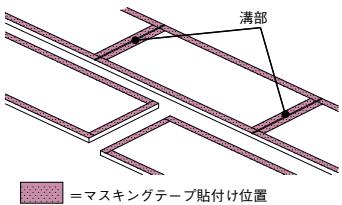
94・98
116

⚠ ●フロア施工は糊釘併用とし、フロアのかん合部と溝部／壁際／配管廻りのフロア木口面は必ずシーリング処理を行ってください。

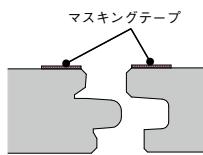
施工

①マスキングテープを貼付ける

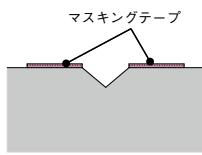
シーリング剤がフロア表面に付着しないようにフロアのかん合部と溝部の周辺にマスキングテープを貼ります。面部と平坦部の境目に沿って貼付けてください。



【かん合部の場合】



【溝部の場合】



②シーリング剤を塗布する

かん合部は、オス実にシーリング剤を塗布し、かん合します。シーリング剤はフロアをかん合させた際、あふれ出るよう塗布してください。溝部は、溝部に直接塗布してください。

【かん合部の場合】



推薦シーリング剤(クリア)

佐藤ケミカル：シリコンコーティング

コニシ：ボンドシリコンコート

セメダイン：シリコンシーラント

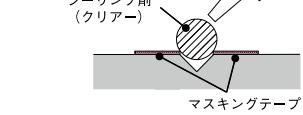
8060プロ

使用量

シーリング剤の太さ：4mm

目安 10g/m以上

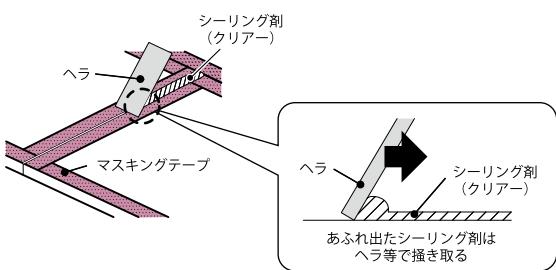
【溝部の場合】



⚠ ●シーリング剤の塗布量が少ないと、面部の防水が不十分となりフクレ／シワ等が発生する可能性があります。

③シーリング剤を搔き取る

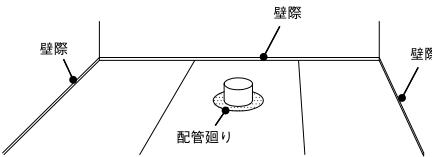
かん合部および溝部からあふれ出たシーリング剤をヘラ等で伸ばすように搔き取り、その後にマスキングテープを剥がします。



⚠ ●シーリング剤がフロア表面に付着した場合、シーリング剤が硬化する前にお湯を含ませた布で速やかに拭き取ってください。シーリング剤が硬化すると除去できなくなり、床が滑りやすくなります。

④壁際／配管廻りをシーリング処理する

すべてのフロアを貼り終えた後、壁際／配管廻りのフロア木口面にシーリング処理を行います。



製品掲載ページ

94・98
116